

環境目標と2003年度実績

ニチレイグループは、1992年度に環境方針を定めるとともに、2010年度末までの長期目標と2003年度末までの中期目標を策定し、その達成に向けて取り組んでまいりました。この活動の成果と継続課題を受けて、2006年度末までの中期目標を新たに設定しています。

● 2003年度実績

2010年度末目標	2003年度末目標	2003年度取り組み実績
廃棄物削減と再資源化 最終処分廃棄物量を1999年度比 70%削減 <small>対象：国内食品工場および物流センター</small>	最終処分廃棄物量*を1999年度比 30%削減 <small>*事業所外に排出される廃棄物のうち直接処分場に埋め立てられる廃棄物の処分量および外部でエネルギー利用などがされず単焼却される廃棄物の量</small>	最終処分廃棄物量を1999年度比 29.7%削減 (株)ニチレイフーズ山形工場でごみゼロ達成 関連ページ P16
地球温暖化防止 生産トン当たりのCO ₂ 排出量(電力、燃料由来)を1999年度比 15%削減 <small>対象：国内食品工場</small>	<食品工場での取り組み> 生産トン当たりのCO ₂ 排出量を1999年度比 8%削減	<食品工場での取り組み> 生産トン当たりのCO ₂ 排出量を1999年度比 11.4%削減 関連ページ P18
環境に配慮した商品・サービスの提供	環境低負荷商品販売 調達ガイドライン、LCA <small>→用語解説</small> の検討	<物流での取り組み> 物流における排出実績把握 <物流での取り組み> モーダルシフト <small>→用語解説</small> 実施によるCO ₂ 排出削減 取り組み方針、目標設定に向けた実態把握 関連ページ P19
環境への影響の大きい化学物質への適切な対応	焼却炉全廃 PCB <small>→用語解説</small> 、フロン <small>→用語解説</small> の適正管理	容器包装の改善による負荷削減に向けて、一部商品でトレイの廃止、容器形状の変更を実施し、容器包装重量を削減 関連ページ P20 導入に向けた調査、検討を継続 (株)ニチレイフーズ博多工場の焼却炉を停止、撤去。これにより、全焼却炉廃止完了 関連ページ P22 経営監査部によるPCB保管状況のチェックを実施
本社・支社オフィスにおける環境保全への取り組み	グリーン購入ガイドラインの充実	ガイドラインに沿った購入の徹底 関連ページ P23
環境マネジメントシステム構築	8食品工場でISO14001 <small>→用語解説</small> 認証取得 主要食品工場におけるマネジメントシステム構築	(株)ニチレイフーズ関西第二工場でISO14001認証取得(2004年3月)これにより、8食品工場での取得を完了 関連ページ P15 教育や勉強会を実施
環境法規遵守	社内監査時のチェック実施 制定、改正情報などコミュニケーション強化	経営監査部によるチェック継続実施(132箇所) 関連ページ P14

● 新たな中期目標の設定

2006年度末目標
最終処分廃棄物量を1999年度比 70%削減 <small>対象：バイオサイエンスカンパニー、フラワーカンパニーの生産拠点を追加。これにより本社、支社、営業所などを除く、国内の生産、物流拠点がすべて対象</small>
各カンパニー目標 加工食品カンパニー：最終処分廃棄物量を1999年度比 70%削減 /ごみゼロを5事業所で達成 水産カンパニー：最終処分廃棄物量を 355トンに削減 /ごみゼロを1事業所で達成 畜産カンパニー：最終処分廃棄物量を1999年度比 40%削減 低温物流カンパニー：ごみゼロを65事業所で達成 バイオサイエンスカンパニー：再資源化率 50%達成 フラワーカンパニー：最終処分廃棄物量を2003年度比 30%削減
<食品工場の取り組み> 生産トン当たりのCO ₂ 排出量を1999年度比 12%削減 <small>対象：国内食品工場(従来と同じ)</small>
<物流センターでの取り組み> 低温物流カンパニー：CO ₂ 排出量原単位を2003年度比 3%削減 <small>対象：エネルギー管理指定工場 <small>→用語解説</small> 11事業所</small>
<物流での取り組み> 加工食品カンパニー：モーダルシフトの拡大 低温物流カンパニー：協力運送会社と連携したCO ₂ 排出削減 運送車両の燃費(km/l)向上 ニチレイの業務分におけるCO ₂ 排出量把握、原単位削減
各カンパニー目標 加工食品カンパニー：2004年度中に容器包装による負荷削減目標を設定 水産カンパニー：2004年度中に環境配慮基準と目標設定 畜産カンパニー：2004年度中に環境配慮基準と目標設定 低温物流カンパニー：環境に配慮した物流提案実施 30件(10件/年) バイオサイエンスカンパニー：環境配慮基準と目標設定 フラワーカンパニー：天然物由来の資材使用率35%、輸送用通い箱の実用化
法規に沿った適正管理、処理などをカンパニーごとに実施
2004年度中に事務用品のグリーン購入対象拡大、目標設定 本社でのごみゼロ
カンパニー単位でのISO14001認証に向けて、仕組みの見直し、構築を実施 2006年度末までに、水産カンパニー、畜産カンパニーにおいて認証取得予定 その他のカンパニーについては、順次取得目標年度を設定予定
社内監査時のチェック継続 関連法規の把握と遵守状況の確認および教育などを、カンパニーごとに実施

2010年度までに最終処分廃棄物をニチレイグループ全体でゼロとする

2006年度末までの達成を目指した新しい中期目標では、すべての事業活動で資源を循環させ、循環型社会の構築に貢献することを目指し、環境負荷の最小化を図る「ゼロエミッション」に向けた目標を定めています。すでに具体的な数値を設定し、活動を開始している目標もありますが、2004年度中に目標設定を予定している項目もあり、今後全カンパニーで具体的な効果的な目標を設定し、その達成に向けた取り組みを進めます。